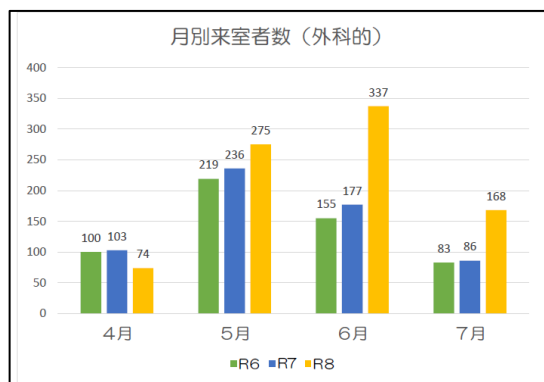




夏休みが終わり、2学期がスタートしました。さまざまな夏の思い出を抱えて登校してきた子ども達は、友達や先生と元気に挨拶を交わしていました。一方で、この時期、不安を抱え登校してくる子もいます。「あえてスロースタートでOK!」、「子どもの話は手を止めて聞こう!」の2つを合言葉に、各教員が教室で迎え入れていました。2学期が始まり、一週間が経過しました。少しずつ子ども達の学校生活のリズムが戻ってきています。

体も心も安全な三田小学校にしていけるために！

1学期を振り返ると、子ども達の学校生活の課題が見えてきました。それは安全な生活です。6月、7月は保健室でけがの手当てをした人数が前の年の約2倍に増加しています。けがの中でも、「突き指」と「目の負傷」が随分多くなっています。突き指の多くは休み時間のボール遊びで起こっています。「目のけが」は様々な場面で起こっていますが、休み時間に廊下を走っていた高学年と、歩いていた低学年がぶつかり、低学年の子がけがをしたこともありました。始業式では、「みんなの教室は安全ですか?」「運動場での遊びは安全ですか?」と問いかけました。2学期は安全な三田小にしていけます。教室で、みんなで話し合い、一人一人が自分で決めた小さなことを実行していくことで、きっと安全な学校になっていきます。2学期の終わりに、「安全な三田小になったよ!」とみんなで喜び合えるようにみんなで取り組んでいきます。



夏休み明けの子どもは普段通りですか？

長い夏休みに身についてしまった生活リズムを取り戻すのは難しいものです。この時期は、子どもの声にしっかりと耳を傾けていただき、気になることがあれば、担任や養護教諭にご相談ください。相談にお越しいただいても大丈夫です。スクールカウンセラーに相談することもできます。それでも、家族だからこそ冷静な対応が難しい場合もあると思います。9月1日の神戸新聞社説に「つらければ休んでもいい」という記事がありました。「子どもが登校を渋ったら、それは『心のSOS』かもしれない。親は動揺し、心配のあまり理由を問いただそうとしがちである。ごく自然な反応と言えるが、『学校に行けない自分はだめだ』と子どもを追い詰めかねない。まずは否定せずに子どもの気持ちを受け止め、つらそうなら休ませることも大切だ」とありました。厚生労働省の「まもろうよこころ」では、交流サイト(SNS)や電話での相談窓口が多数紹介されています。参考までにお伝えします。⇒ [まもろうよ こころ](#) | [厚生労働省](#)

学校の「憩いの場」を復活させるプロジェクト（3）

学校だより6・7月号でお伝えしてきた「散歩道復活プロジェクト」が、多くの協力を得ながら、さらに進んでいます。

7月、6年生実行委員が有馬高校の outgoing、高校生（人と自然科）に散歩道復活プロジェクトへの協力をお願いしました。当初、この訪問は、隣の高校から整備作業に使う道具を借りることが目的だったのですが、小学生を迎え入れてくれた高校生が小学生の話す思いに賛同し、「ぜひ一緒に実現させよう!」と、道具の使い方のレクチャーや作業協力を申し出てくれました。さらに、3年生の環境学習で指導に来てきた樹木医の方が協力くださることになり、樹木医の方から、小学生と高校生と一緒に、森の手入れや整備の方法を教えてもらうことができました。



親子活動が実施されました。小学生親子や地域ボランティア、そこに高校生も加わり、約 50 人が汗を流しました。荒れてしまった散歩道の地面に積もった落ち葉の掃除や、伸びてしまった木の枝の手入れ、フェンスに絡まった蔓の掃除などを行いました。復活はまだまだ先になりますが、「こんな散歩道にしたい!」と夢が大きく膨らんできました。

【9月の主な行事予定】

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	火	給食開始 全校下校 14:00（職員会議・研修の為）	24	木	3年生環境体験学習（田園スポーツセンター）
2	水	委員会活動（5・6年）	25	金	6年生短縮授業（5時間授業）
4	金	6年平和学習（被爆体験伝承者講話）	26	土	6年生修学旅行①
9	水	4年生校外学習（神戸方面）	27	日	6年生修学旅行②
10	木	スマイルタイム 放課後学習（1～3年希望者）	28	月	6年生振替休業日（修学旅行）
18	金	人権参観日、学級・学年集会	29	火	5年生ものづくり体験（指導：ダイハツ工業） 6年生振替休業日（修学旅行）

お知らせ

学校だより4月号で各学級担任をお伝えしていますが、教員の産前産後休暇や病気休暇の取得により担任が交代している学級があります。交代後の学級担任をお知らせします。